

# 麴町新聞

令和4年  
7月24日(日)  
発行

## 麴町の歴史

### 麴町学園の設立

皆さんは、麴町学園が何年に創立されたか知っていますか？  
麴町学園は明治三十八年(一九〇五年)に大築佛郎(おおつきぶつろう)先生が創設し、平成十七年(二〇〇五年)に創立百周年を迎えました。

大築先生は二十六歳のとき、女子教育の大切さを痛感し、また、父・尚志先生の遺志を継ぐことにもつながるため、全財産を投じ、私立麴町女学校(現麴町学園)を設立されました。

こうした大築先生の思いのもと、長い年月を歩んできたこの麴町学園の教育はさまざまな改革を経て、現在の姿があります。例えば、近年では中学教育で「Active English」や「スタンダードコース」、「グローバルコース」の導入、高校教育では「東洋大学グローバルコース」の新設や「ダブルディプロマプログラム」を導入しました。そして、学校全体では「みらい科」や「小論文の授業」を取り入れています。

### 麴町学園の制服

大正八年(一九一九年)までは、学園には実科・本科というカリキュラムが併設されており、それぞれ四年制でした。大正九年(一九二〇年)には本科のみとし制服が和服に制定されました。



それまでは袴の色は一、二年生は海老茶色、三、四年生は紫色であり、和服の袂の長さが指定され、黒の編みあげ靴を履いていました。制服が制定されてからは、冬の和服は紫紺色、羽織も同色で、裏地の色を学年によって変えていました。夏はクリーム色の地色に琴と松葉を垂直に描いた木綿の単衣でした。

昭和七年(一九三二年)、制服が洋服に統一されました。この頃は、大正時代に制定された和服の制服を着ている生徒もあり、和服と洋服の生徒が半々だったそうです。

平成十三年(二〇〇一年)、現在の制服に切り替わりました。チェック柄のスカートに、それぞれ二色ずつあるセーターやベストをシャツの上に着たり、二〇一九年に導入されたポロシャツを組み合わせたこともできます。こうすることで、毎日着るものを変えたり、温度調節をしやすくなることもできます。リボンの色は中高で色が分かれており、中学生は赤色、高校生は青色のリボンを身につけます。また、通学鞆は肩にかけるバッグとリュックサックの二種類があります。

### 麴町学園の校舎について

麴町学園の校舎は百年以上もの歴史を持ちます。実は、校舎は二度にわたって焼失しており、その都度、建て替えられています。

一回目の焼失の原因は大正十二年(一九二三年)、九月一日に起こった「関東大震災」による火災です。この時、校舎は全焼し、焼死したり、行方不明になった生徒もいたそうです。しかし、大築先生をはじめとする学園関係者の努力によって、十一月にはバラック(意味:災害後や空地の焼け跡などに建設さ

れる仮設の建築物)の二教室が建てられ、授業が再開。その後、急

速に校舎が復興し、昭和期に入りました。

二回目の焼失の原因は「太平洋戦争」です。五発の焼夷弾(しょういだん)を受け、学園は全焼しました。関東大震災以来、増築を重ねてきた校舎を全て失い、焼け残ったのは昭和十二年(一九三七年)に完成した旧鉄筋と呼ばれる校舎の外側だけでした。しかしながら、この旧鉄筋が焼け残っていたことで最後の学園復興の大きな力となりました。

そうして二度の焼失に見舞われながらも建て替えられ、そして二〇〇三年に新築されてきた現在の麴町の校舎には、屋内プールやコンビニがあるカフェテリア、作法室やスカイスタジオ、体育館などの様々な施設があります。

二〇一一年、今の校舎でも大きな災害にありました。この時、交通機関は麻痺し、電話をしようにも繋がらず、多くの生徒や先生方がこの校舎内で約一日過ごしました。皆さんもご存じのとおり、「東日本大震災」です。しかし、この校舎は制震構造であったために建物としての被害はほとんどありませんでした。

### 麴町学園の伝統 「こきりこ」について

麴町学園の体育祭の花形、高校三年生の先輩方が踊る「こきりこ」は、アルバム写真で確認できるのは昭和四十七年(一九七二年)が最古です。「こきりこ」は富山県に古くから伝わる民謡で、当時の体育の三人の先生がダンスに取り入れました。民謡「こきりこ」を基に「竹を鳴らして躍る」スタイルを加え、生徒が踊りやすいようにアレンジをしたものが脈々と受け継がれ、伝統となっています。

今日の夏フェスの展示では六月十四日に行われた体育祭の映像を流していますので、ぜひ見て行ってください!

## 麴町の特色

### 伝統のダンス

麴町学園は英語教育についてとても有名な学校です。しかし今英語の教育の他に評価され始めた麴町ならではの文化があります。その文化とは体育祭や発表会の名物でもあるダンスです。主に応援団がエールとして紅白別々のダンスを披露します。

他にも、体育祭では各学年でダンスを発表します。

「歴史」でも述べたように、高校三年生は「こぎり」を、高校二年生は「シング・シング・シング」を、高校一年生は「花舞」を踊ります。もちろん中学生も踊ります！

### クラスは「1組、2組、3組」でも「A組、

### B組、C組」でもなく…!?

麴町学園ではクラスの名称として、花や木の名前を使っている学校です。

中学は「萩 蘭 葵 菫」

高校では「松 楓 桜 桐 梅 柏」

など中高で使い分けています。このように麴町学園では他学校とは違う古き良き文化が他にも残っています。

## 麴町の施設

### 麴町の購買は、二つある！

一階には二つの購買があり、普段使うような文房具や制服や運動服を購入できます。もう一つはYショップというコンビニでお弁当がない時にご飯を買ったり、お菓子を購入したりすることができます！

### 麴町自慢のLOUNGEには、カラオケが!?

LOUNGEは英語を楽しく学べる場所です。LOUNGEには休み時間などにネイティブの先生とお話したり、留学について質問したり放課後にはESS部が英語を使って活動しています。

また、LOUNGEにはカラオケの機器があり、例年は一月頃に洋楽カラオケ大会が開催され、とても盛り上がっています。(※現在、新型コロナウイルスの影響により、大会が開催されていません。)

### 麴町のプールは中身も充実！

施設の一つに温水プールがあります！

ここでは、水泳の授業をしたり、放課後には水泳部が週五回程活動しています。屋外プールと違い、冷暖房もあるため天候に左右されることなく一年を通して、安心して入ることができます！

また、更衣室にはドライヤーもあり、プールに入った後はそこで髪の毛を乾かすこともできます！

### 制服の移り変わり



明治期



大正期



戦前～戦後



～2000



アリーナは、たくさん使います。

アリーナは地下一階にあり、体育の授業や集会・式典などで使用します。体育で使用する時にはバスケットボールコート二面分の広さで運動することができます。集会などで使用する時は約六四〇人着席可能な可動式観覧席を使います。入学式・卒業式の際は舞台前に折りたたみ椅子を置いておこなっています！

# 麴町の取り組み

## 麴町オリジナルの授業「みらい科」

みらい科は麴町学園の特有の教科で毎週水曜日にあります。

みらい科の活動として、現在の高校一年生を例にお話しようと思います。

中学一年生のときは、「ブックトーク」や「クリティカルシンキング」の活動をしました。「ブックトーク」は自分が選んだ二冊の本の紹介をみんなの前で発表する活動です。「クリティカルシンキング」は日常にある色々なことについて疑問を持つ、思考を鍛える活動です。

中学二年生の前期のみらい科はオンライン授業でした。前期の活動は「コロナの今の記録」を作って「その時何が起きていたのか」を整理しました。後期は、オンライン授業が明け、太平洋戦争時に起きたことを調べました。例えば、真珠湾攻撃や学徒出陣などを班に分かれて調べ、まとめました。

中学三年生の時は、「卒業生のお話を聞こう」や「ライプランニング」の活動をして、未来の見通しを立てたり、「Because I am a girl(なぜなら私は女の子だから)」の活動を通して世界の理解を深めました。

「Because I am a girl」とは貧しい国の女の子の生活を知り、自分達の暮らしと比べ、考えるという活動です。これを読んでいる皆さんは、自分とは遠い国にいる同い年の女の子の暮らしを考えたことがありますか？先進国にいる女の子たちが学校で勉強しているくらいの年齢で、

貧しい国にいる女の子達は誰かと結婚させられ、子供を産んだり、働いたりしています。このようなことを知り、世界への理解を深めました。

そして、そのまとめとして、「なぜ学ぶのか」という高校生につながるテーマについて考えました。

## 麴町は部活も充実！

### 新体操部

新体操部は地下一階のアリーナで活動しています。

この部活の注目ポイントは、「競技をしていなくても美しい」ところです！

大会は部員のやる気次第で出場するかしないかを決めます。

また、この部活には元々新体操をやっていた生徒が多いですが、中学から始めた、という人もいますので、新体操の経験がない方でも新体操を始めることができます！

### 書道部

書道部は五階の芸術室で活動しています。

書道部の注目ポイントは自由に自分の作品を作ることです。例えば、半紙に墨で字を書いたり、墨絵を描いている人もいます。また、展示があり、お互いの作品を鑑賞する時間もあります。

そして、書道部は麴町の三代行事である、「葵祭(文化祭)」で毎年、パフォーマンスをしています！昨年の文化祭の作品が一階にあるのでぜひ見てください！

### ESS部

ESS部は三階のLOUNGEで主に活動しています。

ESS部は英語を使ってゲームをしたり、友達や先生とお話ししたり、作業をします。英語を使うので、難しそう、と思われる方もいるかもしれませんが、活動内で英語をたくさん使うので次第に英語のスキルが上がっていきます！

### フェンシング部

フェンシング部は七階のスカイスタジオで活動しています。

インターハイで三位に入賞し、複数の賞を受賞しています。

このような強い選手がいる理由として、専門のコーチの方が手厚く教えてくださるそうです。

そのため、フェンシングをやったことがない方でも本格的に始めることができます！

この新聞の記事で書いた部活は四つだけですが、麴町学園には他にもたくさん運動部や文化部、そして同好会があります！ぜひ、麴町に入学して一緒に部活動をしましょう！☆他にもこんな部活があるよ！

### 運動部

バレーボール・バスケットボール・バドミントン・ダンス・ソフトテニス・剣道・卓球・水泳

### 文化部

演劇・コーラス・クッキング・放送・軽音楽・写真・吹奏楽・美術・パソコン

### 同好会

映画研究・海外文通・サイエンス・手芸・漫画研究・JRC・ジョギング・囲碁将棋

## 麴町の授業、華道と茶道は心を学ぶ

茶道とは日本に伝統的に伝わる文化の一つで、湯を沸かし、茶を点てお客様におもてなしを行ったりするもので、安土桃山時代に千利休が完成させました。

華道とは、植物だけで表現したり、植物を中心に、その他様々な材料を組み合わせて花器というものに生けたりするものです。

麴町学園では中学一年生から二年生の前期までは華道（草月流）を、二年生の後期から三年生の後期までは茶道（裏千家）をそれぞれお招きした講師の方々に指導していただく授業があります。一年半の授業終了後、希望者はお免状を取得することができます。また放課後に行われている課外講座では、華道・茶道の授業どちらも全学年が受けることができます。

## 編集者

・たなか：今、大変な時期だと思うけど、がんばってください。麴町で待ってます！

・Y・あかね：麴町には、たくさん魅力があります！みんなも麴町に入学して、肌でその魅力を感じてください！

・ペペ：麴町は愛があふれる学校です！また私たちに会いにきてください！！

・あまね：麴町学園について調べて、この新聞を書いていく中で、自分でも改めて魅力に気が付きました！皆さんもぜひ読んで、また麴町に来てください！！